

2021年12月21日

各 位

株式会社 みなと銀行

### 「兵庫県内中小企業の景況調査(2021年10月～12月期)」の実施結果について

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行(社長 武市 寿一)は、兵庫県内のお取引先中小企業のご協力を得て、県内中小企業の景況調査(2021年10月～12月期)を実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

本調査は、みなと銀行の県下全域にわたる支店ネットワークを活用し、地元中小企業の皆さまが実際に肌で感じておられる景況感などを幅広く把握し、地域金融機関としてお役に立つ情報を発信していくことを目指して、2010年11月より実施しているものです。

今後についても、四半期毎に実施し、地域の皆さまのご意見、ご判断をより反映した調査となるよう努めてまいります。

#### ■景況調査の概要

実施時期	2021年11月
調査対象	兵庫県内に本社を置くみなと銀行のお取引先中小企業 対象先:1,909先、うち有効回答:1,558先 (有効回答率 81.6%)
質問事項	景況感、売上、経常利益などに関する判断D I 新型コロナウイルスの影響について等

調査結果の概要と詳細は、別紙の通りです。ご参照下さい。

以 上

# 兵庫県内中小企業の景況調査 (2021年10月～12月期)

調査方法等  
 調査時点 2021年11月  
 調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業  
 調査方法 聞き取りによるアンケート調査  
 依頼先数 1909社  
 有効回答数 1558社 (有効回答率 81・6%)

## 【調査結果】

- ・景況判断は、12・8ポイント改善の▲9・0と6四半期連続で改善した。マイナス判断が続いているが、新型コロナウイルス感染拡大前の20年1～3月期の判断を上回った。
- ・新型コロナウイルスの経営への影響について、影響が出ている企業は、55・1%であり、過去6回の調査の6割を超えた状況に比べ低い結果となった。
- ・今年9月の売上水準(対前年同月比)は、「横ばい」を含めて「増加」が82・8%となり、6月比3・1ポイント増え、改善のきざしが見える。
- ・SXを知っている企業は45・0%、知らないは54・7%。知っている企業のうち、取り組みに前向きな企業は19・3%、予定はないは24・3%であった。
- ・景況判断の今後の見通しは、2・1ポイント改善の▲6・9とみている。

## 1 景況判断

### マイナス判断が続くもコロナ前を上回る

『全産業』は12・8ポイント改善の▲9・0と6四半期連続で改善した。マイナス判断が10四半期続いているが、新型コロナウイルス感染拡大前の判断を上回った。

## 調査 集計・分析 みなと銀行 ひょうご経済研究所

【業種】	社数	構成比(%)
製造業	396	25.4
建設業	246	15.8
卸売業	237	15.2
小売業	99	6.4
不動産業	220	14.1
運輸業	77	4.9
宿泊・飲食業	22	1.4
医療・福祉	71	4.6
サービス業	138	8.9
その他	52	3.3
非製造業	1,162	74.6
無回答	0	0.0
合計	1,558	100.0

【従業員数】	社数	構成比(%)
5名以下	194	12.5
6～10名	190	12.2
小計	384	24.6
11～20名	269	17.3
21～50名	433	27.8
51～100名	223	14.3
小計	925	59.4
101～200名	130	8.3
201名以上	118	7.6
小計	248	15.9
無回答	1	0.1
合計	1,558	100.0

※ DI (Diffusion Index)  
 景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合  
 - 「悪い」と回答した企業の割合

『製造業』は全体で14・7ポイント改善の▲9・6だった。『非製造業』は全体で12・1ポイント改善の▲8・8で、『製造業』『非製造業』とも10四半期連続のマイナス判断が続いている。

地域別は、5地域神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路全てで改善した。

先行きは『製造業』で1・0ポイント、『非製造業』で2・5ポイントの改善を予想。全産業では2・1ポイントの改善を見込む。

## 2 売上高判断

### 7四半期ぶりのプラス判断

『全産業』は11・4ポイント改善の1・9となり、7四半期ぶりにプラス判断に転じた。

『製造業』は、10・4ポイント改善の3・8、『非製造業』は11・7ポイント改善の1・2となった。

業種別は全ての業種が改善した。『宿泊・飲食業』『サービス業』以外の業種がマイナス判断を脱した。地域別は但馬・丹波地域が悪化、他の4地域は改善。阪神地域、播磨地域がプラス判断に転じた。先行きは『製造業』は0・5ポイントの改善、『非製造業』は3・6ポイントの改善を予想している。

## 3 経常利益判断

### 7四半期ぶりのプラス判断

『全産業』では8・8ポイントの改善の0・4と7四半期ぶりにプラス判断となった。『製造業』『非製造業』ともに改善した。

業種別は医療・福祉は悪化、他の業種は改善。卸売、不動産その他が今回プラス判断に転じた。

地域別は全ての地域が改善した。先行きは、『製造業』『非製造業』ともに改善の予想で、全産業では2・9ポイントの改善を見込む。

項目	1. 景況判断			2. 売上高判断			(販売数量)		(販売単価)		3. 経常利益判断		
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[前回]	[今回]	[前回]	[今回]	[見通し]
	2021年7～9月	2021年10～12月	2022年1～3月	2021年7～9月	2021年10～12月	2022年1～3月	2021年7～9月	2021年10～12月	2021年7～9月	2021年10～12月	2021年7～9月	2021年10～12月	2022年1～3月
全産業	▲21.8	▲9.0	▲6.9	▲9.5	1.9	4.7	▲9.5	0.4	▲0.1	3.2	▲8.4	0.4	▲3.3
小規模企業	▲21.2	▲8.3	▲9.1	▲16.4	▲1.0	0.3	▲17.6	▲5.2	1.2	2.6	▲15.6	▲0.5	▲0.5
中小企業	▲23.5	▲9.7	▲6.2	▲8.4	3.4	6.4	▲7.2	2.4	▲1.1	4.5	▲8.1	0.2	3.7
中堅企業	▲16.6	▲6.9	▲5.6	▲3.1	1.2	5.3	▲5.9	1.7	1.4	▲0.4	1.3	2.8	8.1
製造業	▲24.3	▲9.6	▲8.6	▲6.6	3.8	4.3	▲7.2	2.8	0.3	5.1	▲5.6	▲2.0	2.3
小規模企業	▲31.0	▲25.8	▲22.6	▲27.6	▲6.5	▲9.7	▲31.0	▲10.0	▲3.4	0.0	▲27.6	▲9.7	▲6.5
中小企業	▲27.4	▲9.1	▲8.0	▲7.7	4.9	5.2	▲7.7	3.5	▲0.4	6.3	▲6.6	▲1.4	2.1
中堅企業	▲10.8	▲5.1	▲5.1	5.4	3.8	6.4	4.1	5.1	4.1	2.6	6.8	▲1.3	6.4
非製造業	▲20.9	▲8.8	▲6.3	▲10.5	1.2	4.8	▲10.3	▲0.5	▲0.3	2.6	▲9.4	1.3	3.7
小規模企業	▲20.4	▲6.8	▲8.0	▲15.4	▲0.6	1.1	▲16.3	▲4.8	1.6	2.9	▲14.5	0.3	0.0
中小企業	▲21.7	▲10.0	▲5.3	▲8.7	2.7	6.9	▲7.0	1.9	▲1.4	3.6	▲8.7	0.9	4.4
中堅企業	▲19.4	▲7.6	▲5.9	▲7.1	0.0	4.7	▲10.9	0.0	0.0	▲1.9	▲1.3	4.7	8.8

#### 4 仕入価格判断

製造業、非製造業ともに大幅に上昇

『全産業』の判断は22・5と11・2ポイント上昇した。『製造業』は企業規模にかかわらず上昇、全体で14・5ポイント上昇した。『非製造業』も企業規模にかかわらず上昇、全体では10・2ポイント上昇した。

業種別では全ての業種が上昇した。宿泊・飲食業、サービス業もプラス判断に転じ、すべての業種がプラス判断となった。

#### 5 生産判断（製造業のみ）

##### 2 四半期連続のプラス判断

製造業全体の判断は6・7ポイント上昇の7・6と5四半期連続で上昇し、2四半期連続のプラス判断となった。小規模企業は3・4ポイント上昇、中小企業は7・1ポイント上昇、中堅企業は6・4ポイント上昇した。

#### 6 在庫判断

不足感やや強まる

「適正」と判断する企業が全体の94・0%を占める。『全産業』では0・8ポイント上昇の1・6となり、不足感がやや強まった。業種別では製造業が過剰、建設業、卸売業、小売業、不動産業が不足となった。

#### 7 資金繰り判断

##### 5 四半期連続のプラス判断

全産業の判断は、4・9と3・0ポイント改善し、5四半期連続のプラス判断となった。

『製造業』では、企業規模にかかわらず改善し、全体では3・2ポイント改善した。『非製造業』は、中堅企業が悪化した。小規模、中小企業が改善し、全体では2・9ポイント改善した。

項目	「上昇」-「低下」			「増加」-「減少」			「不足」-「過剰」			「楽である」-「苦しい」			「不足」-「過剰」			「増加」-「減少」		
	4. 仕入価格判断			5. 生産（製造業のみ）			6. 在庫判断			7. 資金繰り判断			8. 雇用判断			9. 設備投資判断		
	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]	[前回]	[今回]	[見通し]
全産業	11.3	22.5	22.3	—	—	—	0.8	1.6	1.3	1.9	4.9	4.1	9.8	13.3	13.0	▲0.4	1.3	2.7
小規模企業	12.9	20.9	19.3	—	—	—	3.3	2.3	1.7	▲0.6	4.7	3.9	4.8	9.4	9.1	▲4.4	0.3	▲0.3
中小企業	11.9	24.5	25.1	—	—	—	0.0	1.4	1.3	1.5	4.5	4.0	11.0	14.6	14.3	0.5	1.2	3.1
中堅企業	6.6	17.8	16.9	—	—	—	0.0	1.3	0.9	7.4	6.9	4.4	13.1	14.2	14.1	2.7	3.3	6.1
製造業	16.2	30.7	31.0	0.9	7.6	9.9	▲1.9	▲1.3	▲1.5	2.4	5.6	4.3	10.8	11.4	11.6	1.9	0.0	3.6
小規模企業	20.7	30.0	26.7	▲15.4	▲12.0	▲8.0	0.0	0.0	0.0	▲3.4	9.7	12.9	10.3	16.1	16.1	3.6	▲3.2	▲3.2
中小企業	17.9	32.8	33.2	0.4	7.5	11.0	▲1.8	▲1.0	▲1.4	1.1	3.8	2.8	10.9	10.5	11.2	0.0	▲1.8	2.8
中堅企業	8.1	23.4	24.7	9.7	16.1	12.9	▲2.7	▲2.6	▲2.6	9.5	10.3	6.4	10.8	12.8	11.5	8.1	7.8	9.1
非製造業	9.5	19.7	19.3	—	—	—	1.8	2.7	2.4	1.8	4.7	4.0	9.5	13.9	13.4	▲1.1	1.8	2.5
小規模企業	12.2	20.1	18.6	—	—	—	3.5	2.5	1.8	▲0.3	4.3	3.1	4.3	8.8	8.5	▲5.1	0.6	0.0
中小企業	9.1	20.7	21.3	—	—	—	0.9	2.6	2.6	1.7	4.9	4.6	11.1	16.5	15.7	0.7	2.6	3.2
中堅企業	5.9	15.1	13.1	—	—	—	1.4	3.4	2.6	6.5	5.3	3.5	14.2	14.8	15.3	0.0	1.2	4.7

#### 8 雇用判断

不足感はやや強まる

『全産業』では3・5ポイント上昇し、13・3と不足感はやや強まった。業種別では全ての業種で上昇し、不足感が強まった。

#### 9 設備投資判断

##### 7 四半期ぶりのプラス判断

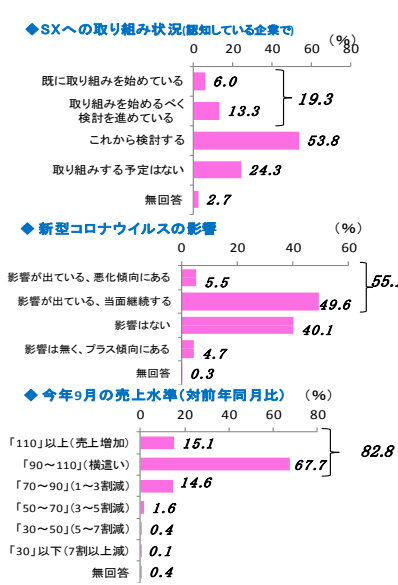
『全産業』では1・7ポイント上昇の1・3となり、7四半期ぶりのプラス判断となった。企業規模にかかわらずプラス判断となった。

#### ◆ SXへの取り組みについて

知っている企業は45・0%、知らないは54・7%。知っている企業のうち取り組みに前向きな企業は19・3%、予定はない企業は24・3%であった。

#### ◆ 新型コロナウイルスの影響

影響が出ている企業は、55・1%であり、過去6回の調査の6割を超えた状況に比べ低い結果となった。今年9月の売上水準（前年同月比）は、「横這い」を含めて「増加」が82・8%となり、前回調査の6月比3・1ポイント改善した。



# 兵庫県内中小企業の景況調査

## (2021年10月～12月期)

### 〔目 次〕

I. 調査方法等	1
II. 調査結果の概要	2
III. 個別項目の動向	
1. 景況判断	3
2. 売上高判断	5
3. 経常利益判断	6
4. 仕入価格判断	7
5. 生産判断（製造業のみ）	8
6. 在庫判断	9
7. 資金繰り判断	10
8. 雇用判断	11
9. 設備投資判断	12
◆ S Xの取り組みについて	13
◆ 新型コロナウイルスの影響について	16
◆ トピックス —2022年を表す漢字—	21
IV. 【参考】 景況判断の内訳明細	22

本調査に関する問い合わせ先  
みなと銀行 経営企画部広報室(担当:望月)  
TEL 大代表(078)331-8141  
直通 (078)333-3247

## I. 調査方法等

- ◆調査時点 2021年11月
- ◆調査対象 兵庫県内に本社を置くみなと銀行の取引先企業
- ◆調査方法 聞き取りによるアンケート調査
- ◆依頼先数 1,909社
- ◆有効回答数 1,558社(有効回答率81.6%)
- ◆集計・分析 ひょうご経済研究所

### 〔回答企業の内訳〕

【所在地】	社数	構成比(%)
神戸地域	471	30.2
阪神地域	408	26.2
播磨地域	521	33.4
但馬・丹波地域	50	3.2
淡路地域	108	6.9
無回答	0	0.0
<b>合計</b>	<b>1,558</b>	<b>100.0</b>

神戸地域・・・神戸市  
 阪神地域・・・尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、川辺郡(猪名川町)  
 播磨地域・・・姫路市、明石市、相生市、加古川市、赤穂市、西脇市、三木市、高砂市、小野市、加西市、宍粟市、加東市、たつの市、多可郡(多可町)、加古郡(稲美町、播磨町)、揖保郡(太子町)、赤穂郡(上郡町)、神崎郡(市川町、福崎町、神河町)、佐用郡(佐用町)  
 但馬・丹波地域・・・丹波篠山市、丹波市、豊岡市、養父市、朝来市、美方郡(香美町、新温泉町)  
 淡路地域・・・洲本市、南あわじ市、淡路市

【業種】	社数	構成比(%)	
<b>製造業</b>	<b>396</b>	<b>25.4</b>	
非製造業	建設業	246	15.8
	卸売業	237	15.2
	小売業	99	6.4
	不動産業	220	14.1
	運輸業	77	4.9
	宿泊・飲食業	22	1.4
	医療・福祉	71	4.6
	サービス業	138	8.9
その他	52	3.3	
<b>非製造業</b>	<b>1,162</b>	<b>74.6</b>	
無回答	0	0.0	
<b>合計</b>	<b>1,558</b>	<b>100.0</b>	

【資本金】	社数	構成比(%)
500万円以下	165	10.6
500万円超～1千万円以下	445	28.6
1千万円超～2千万円以下	288	18.5
2千万円超～3千万円以下	177	11.4
3千万円超～5千万円以下	234	15.0
5千万円超～1億円以下	200	12.8
1億円超	32	2.1
無回答	17	1.1
<b>合計</b>	<b>1,558</b>	<b>100.0</b>

【従業員数】	社数	構成比(%)	
小規模企業	5名以下	194	12.5
	6～10名	190	12.2
	<b>小計</b>	<b>384</b>	<b>24.6</b>
中小企業	11～20名	269	17.3
	21～50名	433	27.8
	51～100名	223	14.3
	<b>小計</b>	<b>925</b>	<b>59.4</b>
中堅企業	101～200名	130	8.3
	201名以上	118	7.6
<b>小計</b>	<b>248</b>	<b>15.9</b>	
無回答	1	0.1	
<b>合計</b>	<b>1,558</b>	<b>100.0</b>	

### 〔各種判断DIについて〕

※ DI (Diffusion Index)

【例】景況判断DI = 「良い」と回答した企業の割合(%) - 「悪い」と回答した企業の割合(%)

## II. 調査結果の概要

- ・景況判断は、12.8ポイント改善の▲9.0となり、6四半期連続で改善した。マイナス判断が続いているが、新型コロナウイルス感染拡大前の20年1～3月期の判断を上回った。
- ・新型コロナウイルスの経営への影響について、影響が出ている企業は55.1%となり、過去6回の調査の6割を超えた状況に比べ低い結果となった。今年9月の売上水準は、前年同月比で「横這い」を含めて「増加」が82.8%となり、6月比3.1ポイント増え、改善のきざしが見える。
- ・SXを「知っている」企業は45.0%、「知らない」企業は54.7%となった。知っている企業のうち取り組みに前向きな企業は19.3%（「取り組みを始めている」6.0%、「検討を進めている」13.3%）、一方「これから検討する」企業は53.8%、「取り組みする予定はない」企業は24.3%となった。
- ・景況判断の今後の見通しは、2.1ポイント改善の▲6.9とみている。

景況判断 DI は12.8ポイント改善の▲9.0  
先行きは2.1ポイント改善の▲6.9

項目	最近3ヵ月 〔2021年10月～12月〕	今後3ヵ月 〔2022年1月～3月〕
景況判断 「良い」-「悪い」	・全産業では12.8ポイント改善の▲9.0となり、6四半期連続で改善。コロナ発生前の判断を上回った。製造業、非製造業ともに改善。	・全産業では2.1ポイント改善の▲6.9を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
売上高判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	・全産業では11.4ポイント改善の1.9と7四半期ぶりのプラス判断。 ・製造業、非製造業ともに改善。	・全産業では2.8ポイントの改善の4.7。 ・製造業、非製造業ともに数量、単価とも上昇し、改善を見込む。
経常利益判断 (前年同期比) 「増加」-「減少」	・全産業では8.8ポイント改善の0.4。 ・製造業は中堅企業が悪化するも全体では改善。非製造業は規模にかかわらず改善。	・全産業では2.9ポイント改善の3.3を予想。 ・製造業、非製造業ともに改善を見込む。
仕入価格判断 「上昇」-「低下」	・全産業では11.2ポイント上昇の22.5。 ・製造業、非製造業ともに上昇。	・全産業では0.2ポイント低下の22.3を予想。 ・製造業は上昇、非製造業は低下を見込む。
生産判断 【製造業のみ】 「増加」-「減少」	・製造業全体では6.7ポイント上昇の7.6と5四半期連続で上昇。 ・企業規模にかかわらず上昇し、2四半期連続のプラス判断。	・製造業全体では2.3ポイント上昇の9.9を予想。 ・小規模、中小企業は上昇、中堅企業は低下を見込む。
在庫判断 「不足」-「過剰」	・「適正」とする企業が9割超。 ・全産業では1.6と不足感がやや強まった。 ・製造業は過剰、非製造業は不足と判断。	・今後とも「適正」とする企業が大半。 ・全産業では1.3と不足感がやや弱まると予想。
資金繰り判断 「楽である」 -「苦しい」	・全産業では4.9と3.0ポイント改善し、5四半期連続のプラス判断。 ・「楽」および「普通」で大半を占める。	・全産業では0.8ポイント悪化の4.1を予想。 ・製造業、非製造業ともに悪化を見込む。
雇用判断 「不足」-「過剰」	・全産業では3.5ポイント上昇の13.3と不足感はやや強まった。 ・製造業、非製造業とも不足感は強まった。	・全産業では0.3ポイント低下の13.0と不足感が弱まると予想。
設備投資判断 「増加」-「減少」	・全産業では1.7ポイント上昇の1.3。 ・製造業は低下、非製造業は上昇。	・全産業では1.4ポイント上昇の2.7を予想。 ・製造業、非製造業ともに上昇を見込む。
SXへの取り組みについて	・「知っている」企業は45.0%、「知らない」企業は54.7%となった。知っている企業のうち、取り組みに前向きな企業は19.3%（「始めている」6.0%、「検討を進めている」13.3%）、一方「これから検討する」企業は53.8%、「予定はない」企業は24.3%となった。	
新型コロナウイルスの影響	・影響が出ているとする企業は55.1%であり、去年の5月以降過去6回の調査の6割を超えた状況に比べ低い結果となった。	
今年9月の売上水準	・売上水準(前年同月比)は、「横這い」を含めて「増加」が82.8%となり、前回調査(今年6月)比3.1ポイント改善した。	

### Ⅲ. 個別項目の動向

#### 1. 景況判断

##### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の景況判断DI(「良い」-「悪い」)は、12.8ポイント改善の▲9.0と6四半期連続で改善した。マイナス判断が10四半期続いているが、新型コロナウイルス感染拡大前の2020年1~3月期の判断を上回った。

業種別・・・『製造業』は全体で14.7ポイント改善の▲9.6となった。

『非製造業』も改善し、全体で12.1ポイント改善の▲8.8となった。

『製造業』『非製造業』とも19年7~9月期以降10四半期連続のマイナス判断となった。

規模別・・・『小規模企業』(従業員数10名以下)、『中小企業』(同11~100名)、『中堅企業』(同101名以上)ともに改善した。小規模企業、中小企業の改善幅が12.9、13.8ポイントと大きい。

##### 【参考】

地域別・・・5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)全てで改善した。特に『神戸地域』の改善幅が17.4ポイントと大きい。

業種別・・・すべての業種で改善した。特に『宿泊・飲食業』は35.7ポイント、『サービス業』は16.7ポイント、『運輸業』は15.8ポイントと改善幅が大きい。

##### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月~3月]

全産業・・・先行きは、2.1ポイント改善の▲6.9を予想している。

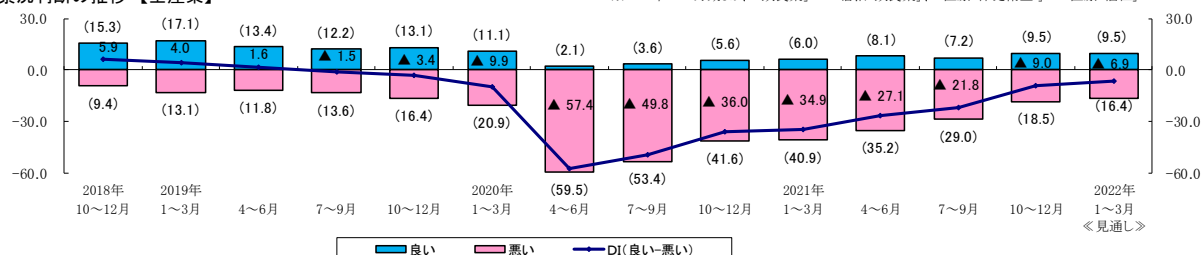
業種別・・・『製造業』は1.0ポイント、『非製造業』は2.5ポイントの改善を見込む。

規模別・・・『小規模企業』は悪化、『中小企業』と『中堅企業』は改善を見込んでいる。

項目	「良い」-「悪い」				
	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 ◀見通し▶
全産業	▲34.9	▲27.1	▲21.8	▲9.0	▲6.9
小規模企業	▲31.7	▲24.8	▲21.2	▲8.3	▲9.1
中小企業	▲35.9	▲29.8	▲23.5	▲9.7	▲6.2
中堅企業	▲35.1	▲19.7	▲16.6	▲6.9	▲5.6
製造業	▲37.9	▲29.9	▲24.3	▲9.6	▲8.6
小規模企業	▲38.9	▲32.3	▲31.0	▲25.8	▲22.6
中小企業	▲40.9	▲32.5	▲27.4	▲9.1	▲8.0
中堅企業	▲28.2	▲20.5	▲10.8	▲5.1	▲5.1
非製造業	▲33.8	▲26.0	▲20.9	▲8.8	▲6.3
小規模企業	▲31.4	▲24.0	▲20.4	▲6.8	▲8.0
中小企業	▲33.5	▲28.6	▲21.7	▲10.0	▲5.3
中堅企業	▲39.1	▲19.3	▲19.4	▲7.6	▲5.9

項目	「良い」-「悪い」					
	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 ◀見通し▶	
地域別	神戸地域	▲42.1	▲38.6	▲30.6	▲13.2	▲10.4
	阪神地域	▲30.8	▲15.9	▲10.3	▲2.5	▲0.7
	播磨地域	▲27.8	▲20.0	▲18.2	▲3.8	▲3.1
	但馬・丹波地域	▲38.5	▲35.1	▲53.4	▲40.0	▲32.0
	淡路地域	▲52.9	▲42.1	▲32.3	▲25.9	▲21.3
	製造業	▲37.9	▲29.9	▲24.3	▲9.6	▲8.6
業種別	建設業	▲21.2	▲16.7	▲17.4	▲4.1	▲4.1
	卸売業	▲33.9	▲32.9	▲24.3	▲12.7	▲9.7
	小売業	▲56.1	▲33.8	▲17.6	▲6.1	▲11.1
	不動産業	▲22.1	▲13.4	▲12.1	▲1.4	0.0
	運輸業	▲36.9	▲20.9	▲23.6	▲7.8	▲1.3
	宿泊・飲食業	▲92.3	▲82.1	▲85.7	▲50.0	0.0
	医療・福祉	▲34.7	▲25.0	▲4.2	▲1.4	1.4
	サービス業	▲46.8	▲34.4	▲35.7	▲19.0	▲16.1
	その他	▲24.6	▲26.0	▲24.1	▲17.3	▲13.5

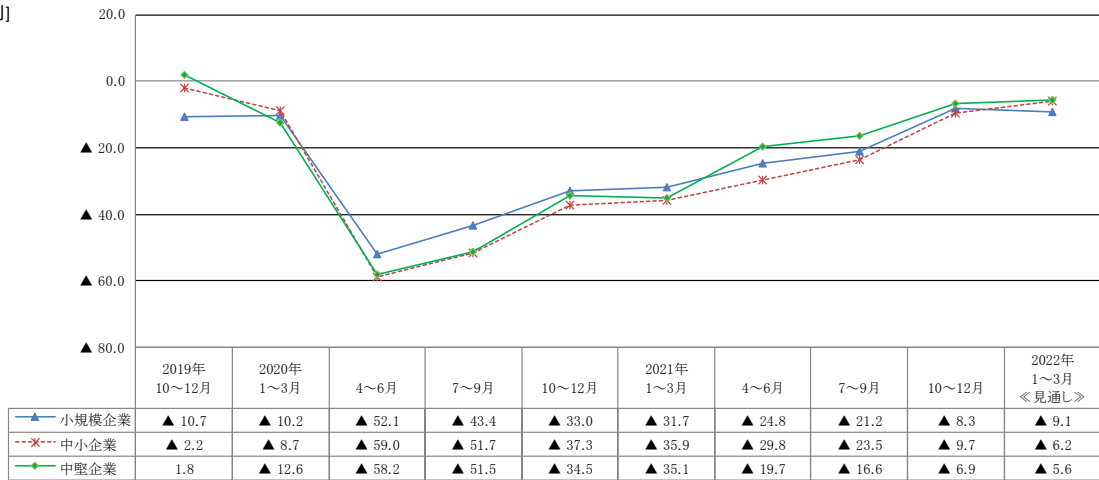
景況判断の推移【全産業】



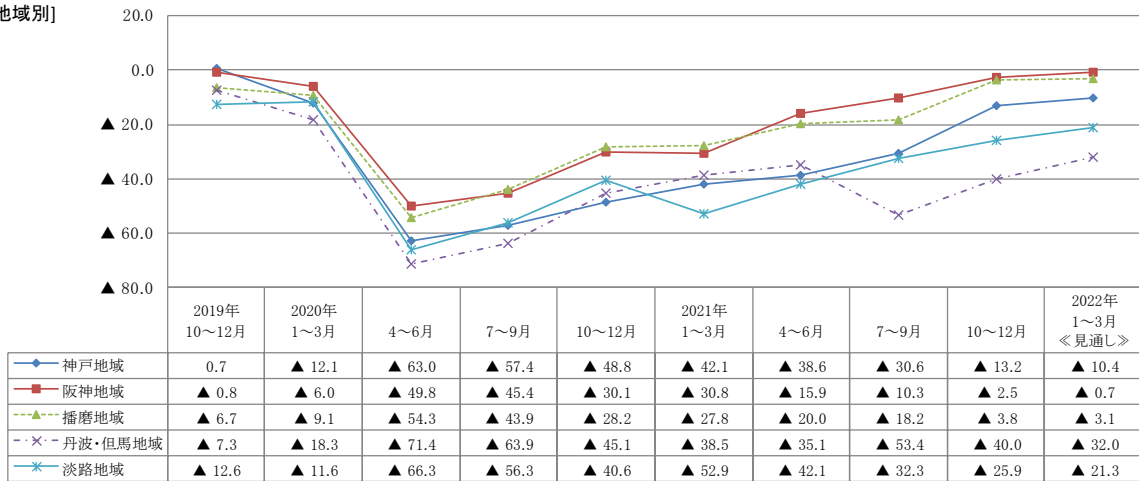


# 景況判断の推移明細

[規模別]



[地域別]



[業種別]  
(一部抜粋)





## 2. 売上高判断

### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の売上高判断DI(「増加」-「減少」)は、全体では11.4ポイント改善の1.9となり、7四半期ぶりにプラス判断に転じた。

業種別・・・『製造業』は、10.4ポイント改善の3.8、『非製造業』は、11.7ポイント改善の1.2となり、ともにプラス判断に転じた。

規模別・・・販売数量は企業規模にかかわらず上昇、全体では9.9ポイント上昇の1.9となり、販売単価は小規模、中小企業が上昇、中堅企業が低下し、全体では3.3ポイント上昇の3.2となった。

### 【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は悪化したが、他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は改善した。『阪神地域』と『播磨地域』はプラス判断に転じた。

業種別・・・全ての業種で改善した。『宿泊・飲食業』と『サービス業』以外の業種はマイナス判断を脱した。

### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月~3月]

全産業・・・先行きは、2.8ポイント改善し、4.7になると予想している。

業種別・・・『製造業』は0.5ポイント改善の4.3、『非製造業』は3.6ポイント改善の4.8を見込む。

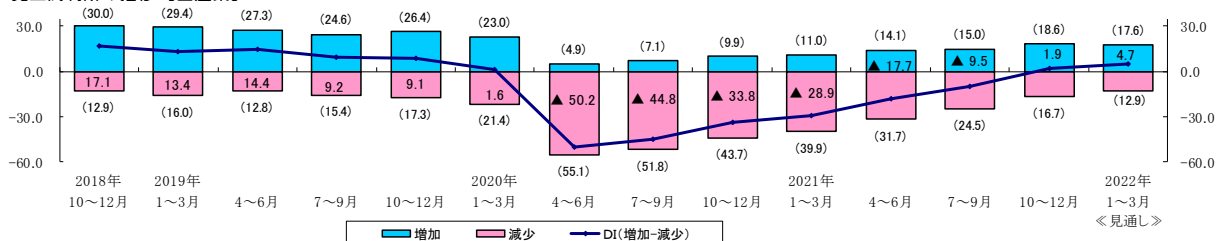
規模別・・・小規模企業、中小企業はともに販売数量、販売単価とも上昇、中堅企業は販売数量は上昇、販売単価は低下すると見込んでいる。

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》
全産業	▲28.9	▲17.7	▲9.5	1.9	4.7
販売数量	▲29.1	▲18.1	▲9.5	0.4	4.2
小規模企業	▲25.5	▲19.3	▲17.6	▲5.2	▲2.9
中小企業	▲30.5	▲18.0	▲7.2	2.4	6.9
中堅企業	▲27.0	▲17.1	▲5.9	1.7	4.6
販売単価	▲9.7	▲5.3	▲0.1	3.2	4.8
小規模企業	▲4.8	▲3.3	1.2	2.6	4.3
中小企業	▲11.1	▲5.9	▲1.1	4.5	6.7
中堅企業	▲10.8	▲5.6	1.4	▲0.4	▲1.3
製造業	▲28.2	▲16.8	▲6.6	3.8	4.3
販売数量	▲27.4	▲17.9	▲7.2	2.8	4.6
販売単価	▲8.8	▲3.5	0.3	5.1	6.1
非製造業	▲29.2	▲18.0	▲10.5	1.2	4.8
販売数量	▲29.7	▲18.2	▲10.3	▲0.5	4.1
販売単価	▲10.1	▲6.0	▲0.3	2.6	4.4

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲35.5	▲29.9	▲19.3	▲5.1	1.5
	阪神地域	▲20.7	▲11.5	▲5.0	5.1	7.1
	播磨地域	▲25.3	▲11.3	▲3.0	8.9	8.9
	但馬・丹波地域	▲34.6	5.4	▲19.0	▲20.0	▲20.0
	淡路地域	▲42.5	▲22.1	▲15.2	▲3.7	0.9
業種別	製造業	▲28.2	▲16.8	▲6.6	3.8	4.3
	建設業	▲15.9	▲4.8	▲9.9	0.4	2.4
	卸売業	▲30.2	▲25.4	▲12.4	4.2	7.6
	小売業	▲48.8	▲23.8	▲12.9	6.1	0.0
	不動産業	▲19.6	▲10.4	▲4.0	4.6	7.3
	運輸業	▲29.2	▲14.9	▲9.7	1.3	16.9
	宿泊・飲食業	▲92.3	▲64.3	▲66.7	▲31.8	18.2
	医療・福祉	▲16.3	▲16.4	7.0	7.1	12.9
	サービス業	▲47.7	▲20.4	▲16.1	▲8.8	▲7.3
	その他	▲19.3	▲26.0	▲16.7	0.0	0.0

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

### 売上高判断の推移【全産業】



### 3. 経常利益判断

#### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の経常利益判断DI(「増加」-「減少」)は、8.8ポイント改善の0.4と7四半期ぶりにプラス判断に転じた。

業種別・・・『製造業』は3.6ポイント改善の▲2.0、『非製造業』は10.7ポイント改善の1.3となった。『製造業』では、小規模・中小企業は改善、中堅企業は悪化。『非製造業』は企業規模にかかわらず改善した。

規模別・・・『小規模企業』は15.1ポイント、『中小企業』は8.3ポイント、『中堅企業』は1.5ポイント改善。『中小企業』が今回プラス判断に転じた。

#### 【参考】

地域別・・・5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)全てで改善した。『阪神地域』、『播磨地域』はプラス判断に転じた。

業種別・・・『医療・福祉』は悪化した。他の業種は改善した。特に『卸売業』、『不動産業』、『その他』が今回プラス判断に転じた。

#### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月~3月]

全産業・・・先行きは、2.9ポイント改善の3.3を見込む。

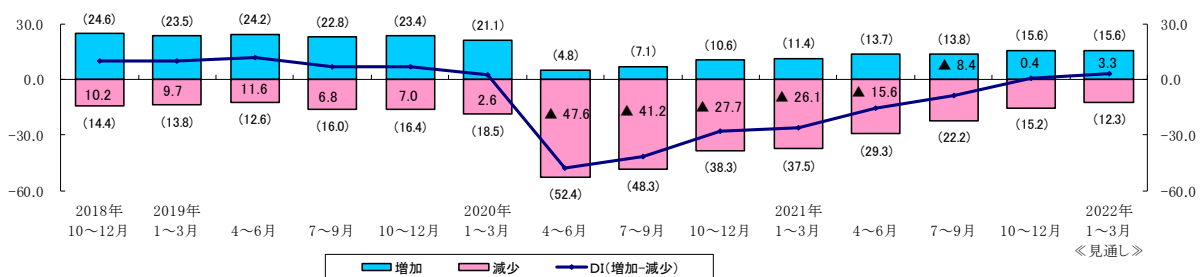
業種別・・・『製造業』が4.3ポイント改善の2.3、『非製造業』は2.4ポイント改善の3.7と予想している。

規模別・・・『小規模企業』は変わらずの▲0.5、『中小企業』は3.5ポイントの改善の3.7、『中堅企業』は5.3ポイントの改善の8.1を見込んでいる。

項目	「増加」-「減少」				
	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》
全産業	▲26.1	▲15.6	▲8.4	0.4	3.3
小規模企業	▲26.6	▲18.7	▲15.6	▲0.5	▲0.5
中小企業	▲26.8	▲15.1	▲8.1	0.2	3.7
中堅企業	▲22.5	▲13.2	1.3	2.8	8.1
製造業	▲23.9	▲14.7	▲5.6	▲2.0	2.3
小規模企業	▲16.7	▲22.6	▲27.6	▲9.7	▲6.5
中小企業	▲28.6	▲15.5	▲6.6	▲1.4	2.1
中堅企業	▲11.7	▲9.0	6.8	▲1.3	6.4
非製造業	▲26.9	▲15.9	▲9.4	1.3	3.7
小規模企業	▲27.3	▲18.3	▲14.5	0.3	0.0
中小企業	▲25.9	▲15.0	▲8.7	0.9	4.4
中堅企業	▲28.8	▲15.3	▲1.3	4.7	8.8

項目	「増加」-「減少」					
	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲32.6	▲25.4	▲15.3	▲3.2	0.9
	阪神地域	▲18.9	▲14.9	▲7.8	4.9	6.6
	播磨地域	▲22.2	▲7.7	▲1.2	3.8	6.7
	但馬・丹波地域	▲28.8	10.8	▲15.5	▲14.3	▲12.2
	淡路地域	▲41.4	▲23.2	▲15.2	▲10.2	▲7.4
業種別	製造業	▲23.9	▲14.7	▲5.6	▲2.0	2.3
	建設業	▲16.3	▲1.9	▲9.5	▲1.6	▲1.6
	卸売業	▲23.9	▲23.9	▲12.4	5.5	6.3
	小売業	▲33.8	▲20.0	▲3.5	0.0	▲2.0
	不動産業	▲20.2	▲7.9	▲6.0	6.8	7.7
	運輸業	▲26.2	▲16.4	▲12.5	▲11.7	2.6
	宿泊・飲食業	▲92.3	▲60.7	▲71.4	▲27.3	22.7
	医療・福祉	▲22.4	▲12.5	11.3	9.9	15.5
	サービス業	▲43.2	▲14.0	▲9.8	▲1.5	▲3.6
	その他	▲28.1	▲29.2	▲16.7	1.9	7.7

経常利益判断の推移【全産業】



## 4. 仕入価格判断

### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月～12月]

全産業・・・最近3ヵ月の仕入価格判断DI(「上昇」-「低下」)は11.2ポイント上昇の22.5となった。

業種別・・・『製造業』は企業規模にかかわらず上昇し、全体では14.5ポイント上昇の30.7となった。  
『非製造業』も企業規模にかかわらず上昇し、全体では10.2ポイント上昇の19.7となった。

規模別・・・各企業規模とも上昇。上昇幅は『小規模企業』では8.0ポイント、『中小企業』は12.6ポイント、『中堅企業』は11.2ポイントとなった。

### 【参考】

地域別・・・5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)全てで上昇した。『但馬・丹波地域』、『播磨地域』がそれぞれ29.4ポイント、13.7ポイントと上昇幅が大きかった。

業種別・・・すべての業種が上昇した。特に『宿泊・飲食業』、『運輸業』の上昇幅がそれぞれ32.1ポイント、26.7ポイントと大きかった。すべての業種がプラス判断となった。

### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月～3月]

全産業・・・先行きは、0.2ポイント低下の22.3と予想している。

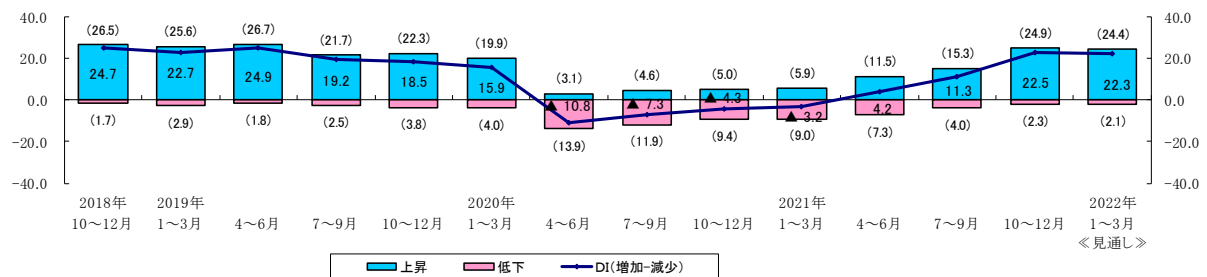
業種別・・・『製造業』は0.3ポイント上昇の31.0、『非製造業』は0.4ポイント低下の19.3を見込む。

規模別・・・『小規模企業』は1.6ポイント、『中堅企業』は0.9ポイント低下し、『中小企業』は0.6ポイント上昇するとみている。

項目	「上昇」-「低下」				
	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月 《見通し》
全産業	▲3.2	4.2	11.3	22.5	22.3
小規模企業	1.8	9.5	12.9	20.9	19.3
中小企業	▲4.9	3.0	11.9	24.5	25.1
中堅企業	▲3.9	1.8	6.6	17.8	16.9
製造業	▲4.8	3.5	16.2	30.7	31.0
小規模企業	0.0	22.6	20.7	30.0	26.7
中小企業	▲5.0	1.5	17.9	32.8	33.2
中堅企業	▲6.5	2.6	8.1	23.4	24.7
非製造業	▲2.5	4.5	9.5	19.7	19.3
小規模企業	2.0	7.9	12.2	20.1	18.6
中小企業	▲4.8	3.7	9.1	20.7	21.3
中堅企業	▲2.4	1.4	5.9	15.1	13.1

項目	「上昇」-「低下」					
	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲9.4	1.9	5.8	14.3	14.0
	阪神地域	0.4	3.8	8.8	19.4	20.0
	播磨地域	▲0.4	6.2	16.2	29.9	29.5
	但馬・丹波地域	1.9	10.8	15.5	44.9	42.9
	淡路地域	▲5.8	2.2	16.0	23.3	22.3
業種別 非製造業	製造業	▲4.8	3.5	16.2	30.7	31.0
	建設業	4.0	12.3	15.5	23.6	24.9
	卸売業	▲3.2	4.7	11.0	19.1	18.2
	小売業	▲9.9	5.0	12.9	22.2	21.2
	不動産業	3.3	10.3	13.1	24.4	21.2
	運輸業	▲6.9	8.5	1.5	28.2	33.3
	宿泊・飲食業	▲30.8	▲14.3	▲4.8	27.3	31.8
	医療・福祉	2.5	▲12.2	1.5	4.9	4.8
	サービス業	▲8.4	▲2.4	▲2.8	5.4	3.1
	その他	▲3.8	▲5.6	9.6	18.0	20.0

仕入価格判断の推移【全産業】



※2018年1～3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

## 5. 生産判断（製造業のみ）

### (1) 最近3ヵ月〔2021年10月～12月〕

全体……最近3ヵ月の生産判断DI(「増加」-「減少」)は6.7ポイント上昇の7.6となり、5四半期連続で上昇し、2四半期連続のプラス判断となった。

規模別……『小規模企業』は3.4ポイント、『中小企業』は7.1ポイント、『中堅企業』が6.4ポイント上昇した。

#### 【参考】

地域別……『淡路地域』で低下し、他の4地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波)で上昇した。『神戸地域』が今回プラス判断に転じ、『淡路地域』はマイナス判断に戻った。

### (2) 今後3ヵ月〔2022年1月～3月〕

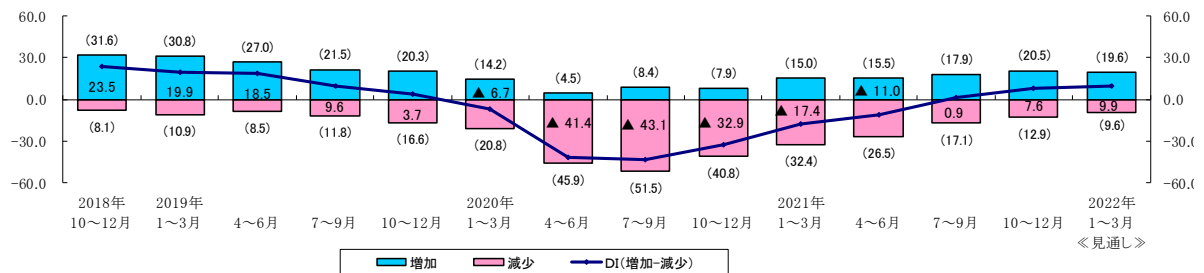
全体……先行きは、9.9と2.3ポイントの上昇を見込む。

規模別……『小規模企業』は4.0ポイント、『中小企業』は3.5ポイントの上昇、一方『中堅企業』は3.2ポイントの低下を見込む。

項目	「増加」-「減少」				
	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月 《見通し》
製造業	▲17.4	▲11.0	0.9	7.6	9.9
小規模企業	▲17.6	▲20.7	▲15.4	▲12.0	▲8.0
中小企業	▲22.1	▲11.5	0.4	7.5	11.0
中堅企業	▲1.4	▲5.5	9.7	16.1	12.9

項目	「増加」-「減少」				
	2021年 1～3月	2021年 4～6月	2021年 7～9月	2021年 10～12月	2022年 1～3月 《見通し》
神戸地域	▲18.8	▲25.4	▲17.5	6.8	10.4
阪神地域	▲17.0	▲26.2	2.5	6.5	0.0
播磨地域	▲14.1	▲1.0	5.8	10.7	10.4
但馬・丹波地域	▲21.1	6.7	4.5	6.3	10.5
淡路地域	▲40.0	▲32.1	0.0	▲7.1	▲2.4

#### 生産判断の推移【製造業】



## 6. 在庫判断

### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・「適正」と判断する企業が全体の94.0%を占める。最近3ヵ月の在庫判断DI(「不足」-「過剰」)は、『全産業』が0.8ポイント上昇の1.6となり、不足感がやや強まった。

業種別・・・『製造業』は過剰感が0.6ポイント弱まり▲1.3、一方『非製造業』は不足感が0.9ポイント強まり2.7となった。

規模別・・・『小規模企業』は不足感が1.0ポイント弱まり3.3となり、『中小企業』と『中堅企業』はそれぞれ1.4、1.3と過不足なしから不足に転じた。

### 【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『阪神地域』、『但馬・丹波地域』、『淡路地域』は不足、『播磨地域』は過不足なしとなった。

業種別・・・『製造業』のみが過剰、『建設業』、『卸売業』、『小売業』、『不動産業』が不足となっている。

### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月~3月]

全産業・・・今後についても「適正」とする企業が94.5%と多いが、先行きは1.3となり、不足感がやや弱まると予想している。

業種別・・・『製造業』は▲1.5と過剰感がやや強まり、『非製造業』は2.4と不足感がやや弱まると見ている。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ1.7、1.3、0.9と不足感が弱まると予想している。

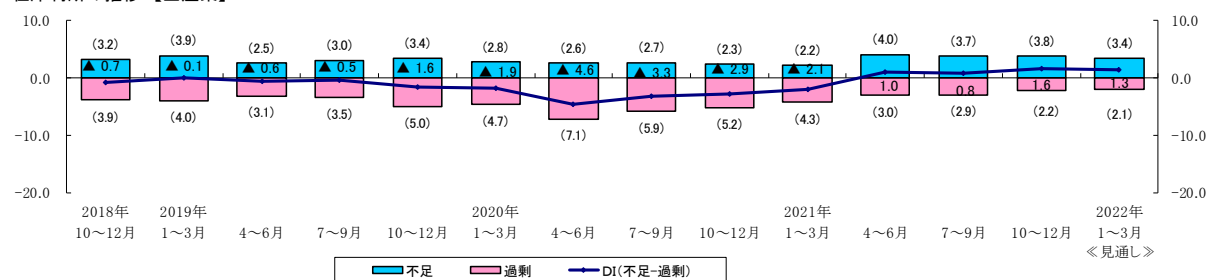
「不足」-「過剰」

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》
全産業	▲2.1	1.0	0.8	1.6	1.3
小規模企業	▲1.5	4.0	3.3	2.3	1.7
中小企業	▲2.9	▲0.4	0.0	1.4	1.3
中堅企業	0.5	2.4	0.0	1.3	0.9
製造業	▲5.6	▲1.1	▲1.9	▲1.3	▲1.5
小規模企業	▲5.6	▲3.2	0.0	0.0	0.0
中小企業	▲7.3	▲1.9	▲1.8	▲1.0	▲1.4
中堅企業	0.0	2.6	▲2.7	▲2.6	▲2.6
非製造業	▲0.6	1.9	1.8	2.7	2.4
小規模企業	▲1.2	4.9	3.5	2.5	1.8
中小企業	▲0.6	0.4	0.9	2.6	2.6
中堅企業	0.8	2.3	1.4	3.4	2.6

【参考】 「不足」-「過剰」

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲4.2	▲1.3	▲0.3	2.6	1.9
	阪神地域	1.8	6.5	4.0	2.2	2.2
	播磨地域	▲4.1	▲0.6	▲0.2	0.0	0.0
	但馬・丹波地域	5.9	10.8	3.7	2.1	▲2.1
	淡路地域	1.2	▲1.1	▲4.3	3.1	4.0
業種別	製造業	▲5.6	▲1.1	▲1.9	▲1.3	▲1.5
	建設業	1.6	4.8	5.3	2.7	3.2
	卸売業	0.0	▲1.9	0.5	1.3	0.4
	小売業	▲14.6	1.3	▲2.4	3.0	3.0
	不動産業	3.4	7.4	3.1	6.1	5.6

在庫判断の推移【全産業】



## 7. 資金繰り判断

### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の資金繰り判断DI(「楽である」-「苦しい」)は、3.0ポイント改善の4.9となり、5四半期連続のプラス判断となった。

全体では「楽である」(9.5%)と「普通」(85.9%)を合わせて95.4%と大半を占める。

業種別・・・『製造業』は3.2ポイント改善の5.6となった。小規模企業が13.1ポイント改善の9.7、中小企業が2.7ポイント改善の3.8、中堅企業が0.8ポイント改善の10.3となった。『非製造業』は2.9ポイント改善の4.7となった。小規模企業は4.6ポイント改善の4.3、中小企業は3.2ポイント改善の4.9、中堅企業は1.2ポイント悪化の5.3となった。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』は改善し、『中堅企業』は悪化した。

### 【参考】

地域別・・・『但馬・丹波地域』は悪化し、他の4地域(神戸、阪神、播磨、淡路)は改善した。『神戸地域』、『阪神地域』、『播磨地域』はプラス判断となった。

業種別・・・『宿泊・飲食業』、『その他』が悪化した。他の業種は改善した。『その他』がマイナス判断に転じ、『運輸業』、『宿泊・飲食業』、『その他』の3業種がマイナス判断となった。

### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月~3月]

全産業・・・先行きは、0.8ポイント悪化の4.1を見込む。

業種別・・・『製造業』は1.3ポイント悪化の4.3、『非製造業』は0.7ポイント悪化の4.0を見込む。

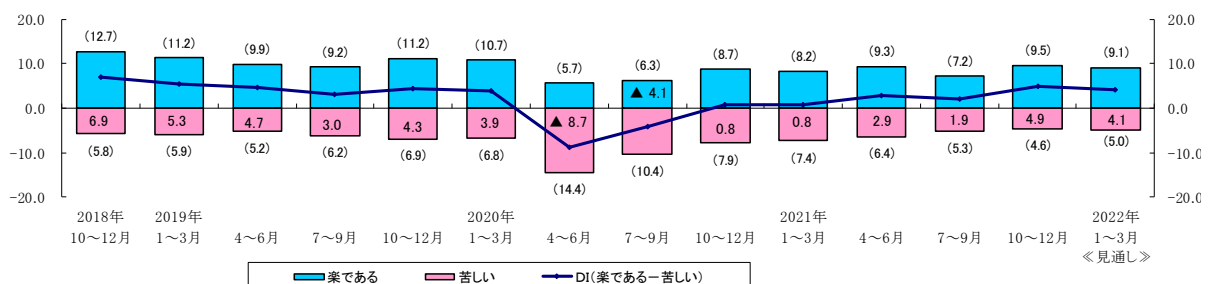
規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに悪化すると予想している。

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》
全産業	0.8	2.9	1.9	4.9	4.1
小規模企業	▲1.0	▲3.1	▲0.6	4.7	3.9
中小企業	1.5	4.1	1.5	4.5	4.0
中堅企業	1.4	6.1	7.4	6.9	4.4
製造業	4.8	7.2	2.4	5.6	4.3
小規模企業	0.0	▲9.7	▲3.4	9.7	12.9
中小企業	5.0	7.9	1.1	3.8	2.8
中堅企業	5.2	11.5	9.5	10.3	6.4
非製造業	▲0.6	1.3	1.8	4.7	4.0
小規模企業	▲1.1	▲2.3	▲0.3	4.3	3.1
中小企業	▲0.2	2.4	1.7	4.9	4.6
中堅企業	▲0.8	3.3	6.5	5.3	3.5

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	1.5	2.9	3.0	4.0	3.4
	阪神地域	▲1.7	▲2.0	▲1.0	2.5	2.0
	播磨地域	4.2	6.9	5.6	10.8	9.6
	但馬・丹波地域	▲11.5	▲5.4	▲6.9	▲14.0	▲22.0
	淡路地域	▲4.6	0.0	▲4.0	▲0.9	0.0
業種別	製造業	4.8	7.2	2.4	5.6	4.3
	建設業	3.8	4.8	6.6	9.8	8.1
	卸売業	2.6	4.7	0.0	4.6	2.5
	小売業	▲14.6	▲8.8	0.0	2.0	3.0
	不動産業	▲1.8	2.4	0.0	6.8	6.8
	運輸業	0.0	▲3.0	▲4.2	▲1.3	0.0
	宿泊・飲食業	▲34.6	▲39.3	▲19.0	▲27.3	▲27.3
	医療・福祉	0.0	0.0	0.0	2.8	7.0
	サービス業	2.7	7.6	7.1	8.0	5.1
	その他	3.5	2.1	3.7	▲5.8	▲7.7

※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

### 資金繰り判断の推移【全産業】



## 8. 雇用判断

### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の雇用判断DI(「不足」-「過剰」)は、3.5ポイント上昇の13.3と、不足感はやや強まった。

業種別・・・『製造業』は0.6ポイント上昇の11.4、『非製造業』は4.4ポイント上昇の13.9となった。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ4.6ポイント、3.6ポイント、1.1ポイント上昇し、不足感はやや強まった。

#### 【参考】

地域別・・・5地域(神戸、阪神、播磨、但馬・丹波、淡路)全てで上昇した。特に『但馬・丹波地域』、『淡路地域』はそれぞれ34.0、19.4となり、不足感が強まった。

業種別・・・すべての業種で上昇し、不足感が強まった。特に『医療・福祉』が28.2、『建設業』が27.6と不足感が強い。

### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月~3月]

全産業・・・先行きは、13.0と0.3ポイント低下し、不足感がやや弱まる予想となった。

業種別・・・『製造業』は0.2ポイント上昇の11.6と不足感はやや強まる、『非製造業』は0.5ポイント低下の13.4と不足感はやや弱まると予想している。

規模別・・・『小規模企業』、『中小企業』、『中堅企業』ともに不足感が弱まると見ている。

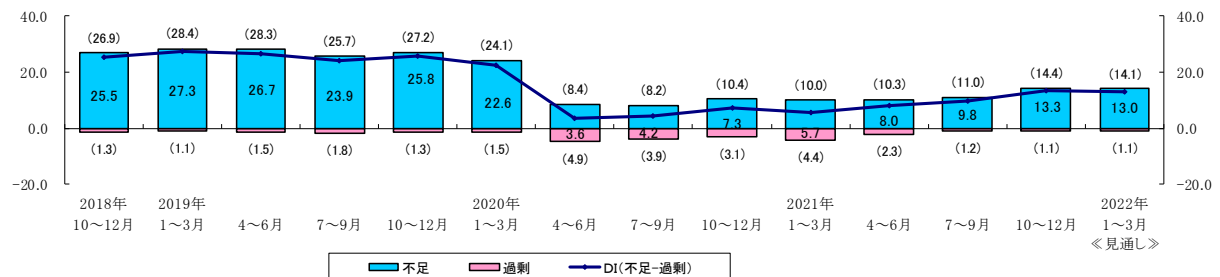
「不足」-「過剰」

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》
全産業	5.7	8.0	9.8	13.3	13.0
小規模企業	6.6	5.8	4.8	9.4	9.1
中小企業	5.5	8.8	11.0	14.6	14.3
中堅企業	5.2	7.5	13.1	14.2	14.1
製造業	1.4	4.3	10.8	11.4	11.6
小規模企業	0.0	3.2	10.3	16.1	16.1
中小企業	1.2	3.8	10.9	10.5	11.2
中堅企業	2.6	5.1	10.8	12.8	11.5
非製造業	7.3	9.4	9.5	13.9	13.4
小規模企業	7.0	6.1	4.3	8.8	8.5
中小企業	7.6	11.0	11.1	16.5	15.7
中堅企業	6.8	8.7	14.2	14.8	15.3

「不足」-「過剰」

項目	2021年 1~3月	2021年 4~6月	2021年 7~9月	2021年 10~12月	2022年 1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	6.3	9.9	6.3	9.6	9.6
	阪神地域	6.4	5.4	7.6	12.7	11.8
	播磨地域	4.4	5.7	12.2	13.7	12.7
	但馬・丹波地域	11.5	13.5	27.6	34.0	40.0
	淡路地域	3.4	16.8	11.1	19.4	21.3
業種別	製造業	1.4	4.3	10.8	11.4	11.6
	建設業	24.5	20.6	19.8	27.6	27.6
	卸売業	▲4.2	4.7	5.0	5.1	4.6
	小売業	7.3	10.0	2.4	13.1	13.1
	不動産業	1.8	1.2	2.5	5.5	4.6
	運輸業	9.2	16.4	11.1	13.2	15.6
	宿泊・飲食業	▲15.4	▲14.3	4.8	9.1	18.2
	医療・福祉	16.3	5.4	19.7	28.2	26.8
	サービス業	4.5	10.9	7.1	12.4	8.0
	その他	3.5	11.5	9.3	13.5	15.4

#### 雇用判断の推移【全産業】





## 9. 設備投資判断

### (1) 最近3ヵ月 [2021年10月~12月]

全産業・・・最近3ヵ月の設備投資判断DI(「増加」-「減少」)は、1.7ポイント上昇の1.3となり、7四半ぶりにプラス判断に転じた。

業種別・・・『製造業』は企業規模にかかわらず低下し、全体では1.9ポイント低下の0.0となった。『非製造業』は規模にかかわらず上昇し、全体では2.9ポイント上昇の1.8となり、プラス判断に転じた。

規模別・・・『小規模企業』が4.7ポイント上昇の0.3、『中小企業』が0.7ポイント上昇の1.2、『中堅企業』が0.6ポイント上昇の3.3となった。『小規模企業』もプラス判断に転じた。

### 【参考】

地域別・・・『神戸地域』、『淡路地域』が上昇し、『阪神地域』、『播磨地域』、『但馬・丹波地域』が低下した。『神戸地域』、『淡路地域』がプラス判断に転じ、すべての地域がプラス判断となった。

業種別・・・『製造業』、『宿泊・飲食業』は低下し、他の業種は上昇した。『建設業』、『小売業』、『不動産業』、『サービス業』、『その他』はマイナス判断を脱し、『宿泊・飲食業』はマイナス判断に転じた。

### (2) 今後3ヵ月 [2022年1月~3月]

全産業・・・先行きは、1.4ポイント上昇の2.7を見込む。

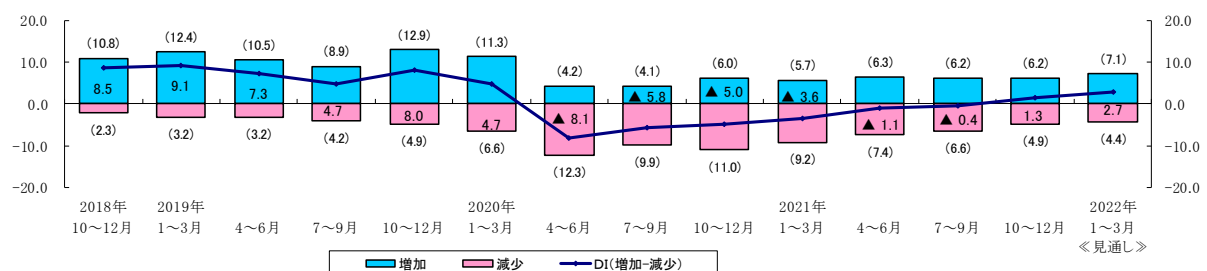
業種別・・・『製造業』は3.6ポイント上昇の3.6、『非製造業』も0.7ポイント上昇の2.5を予想している。

規模別・・・『小規模企業』は0.6ポイントの低下、『中小企業』、『中堅企業』はそれぞれ1.9ポイント、2.8ポイントの上昇を予想している。

項目	前年同期比				増加-減少	
	2021年1~3月	2021年4~6月	2021年7~9月	2021年10~12月	2022年1~3月 《見通し》	
全産業	▲3.6	▲1.1	▲0.4	1.3	2.7	
小規模企業	▲6.8	▲3.9	▲4.4	0.3	▲0.3	
中小企業	▲4.0	▲1.7	0.5	1.2	3.1	
中堅企業	2.4	4.9	2.7	3.3	6.1	
製造業	▲4.2	▲1.6	1.9	0.0	3.6	
小規模企業	▲5.6	▲6.5	3.6	▲3.2	▲3.2	
中小企業	▲5.4	▲3.4	0.0	▲1.8	2.8	
中堅企業	0.0	7.8	8.1	7.8	9.1	
非製造業	▲3.3	▲0.9	▲1.1	1.8	2.5	
小規模企業	▲6.9	▲3.6	▲5.1	0.6	0.0	
中小企業	▲3.4	▲0.9	0.7	2.6	3.2	
中堅企業	3.8	3.4	0.0	1.2	4.7	

項目	増加-減少					
	2021年1~3月	2021年4~6月	2021年7~9月	2021年10~12月	2022年1~3月 《見通し》	
地域別	神戸地域	▲5.6	▲3.9	▲5.0	1.1	2.0
	阪神地域	▲2.1	0.4	1.9	0.8	0.3
	播磨地域	▲2.7	▲1.4	1.6	0.6	4.1
	但馬・丹波地域	▲7.7	5.4	5.3	2.0	6.0
	淡路地域	▲1.1	6.4	▲3.0	7.4	7.5
業種別	製造業	▲4.2	▲1.6	1.9	0.0	3.6
	建設業	1.0	▲0.5	▲1.7	1.7	2.1
	卸売業	▲5.3	▲5.8	0.5	0.9	1.7
	小売業	▲10.0	2.6	▲3.6	0.0	▲1.0
	不動産業	▲3.9	0.0	▲1.6	0.0	0.5
	運輸業	0.0	3.0	4.2	8.0	11.7
	宿泊・飲食業	▲19.2	▲14.3	0.0	▲4.5	0.0
	医療・福祉	12.5	7.4	1.4	11.4	18.3
	サービス業	▲6.3	3.3	▲5.4	0.0	▲3.7
	その他	▲5.5	▲3.2	▲1.9	2.0	4.0

設備投資判断の推移【全産業】

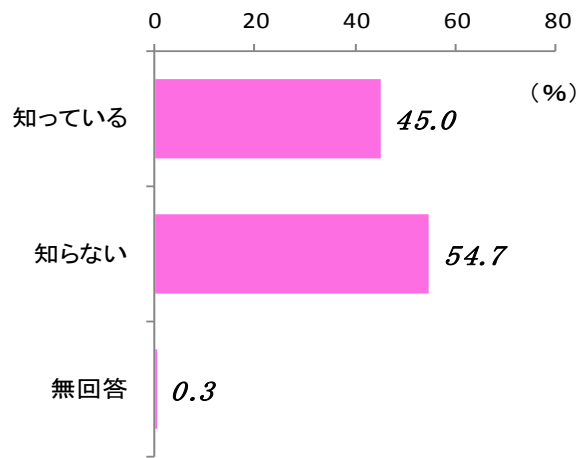


※2018年1~3月期より、「飲食業」→「宿泊・飲食業」、「医療・保健衛生」→「医療・福祉」

◆ SX(サステナビリティ・トランスフォーメーション)への取り組みについて

(1)SX の認知度

- SXの認知度について、「知っている」企業は45.0%、一方「知らない」企業は54.7%となり、知っている企業を上回る結果となった。
- 規模別に認知度をみると、「知っている」企業は、小規模企業が35.2%、中小企業が44.8%、中堅企業が60.9%となっている。一方「知らない」企業は、小規模企業が64.3%、中小企業が55.0%、中堅企業は39.1%となっており、企業規模が大きいほど認知度は高い結果となった。
- 業種別にみると「知っている」企業は、製造業が45.7%、非製造業が44.8%となっている、また、「知らない」企業は製造業が54.0%、非製造業が55.0%となっており、業種による差はあまりみられなかった。

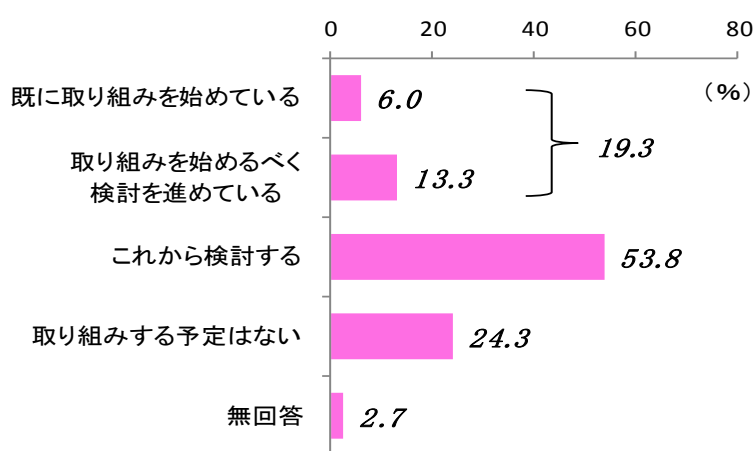


(%)

		回答 企業数 (社)	知っている	知らない	無回答	合計
全産業		1,558	45.0	54.7	0.3	100.0
規模別	小規模企業	384	35.2	64.3	0.5	100.0
	中小企業	925	44.8	55.0	0.2	100.0
	中堅企業	248	60.9	39.1	0.0	100.0
業種別	製造業	396	45.7	54.0	0.3	100.0
	非製造業	1,162	44.8	55.0	0.3	100.0

## (2) 取り組み状況

- ・(1)で知っていると答えた企業 701 社に取り組み状況を確認したところ、取り組みに前向きな企業は 19.3%（「既に取り組みを始めている」6.0%、「取り組みを始めるべく検討を進めている」13.3%）、一方「これから検討する」企業は 53.8%、「取り組みする予定はない」企業は 24.3%となった。SXを知っている企業において取り組みに前向きな企業は 2 割弱にとどまった。
- ・規模別にみると、「既に取り組みを始めている」企業は、中堅企業が 9.9%、中小企業が 5.6%に対して小規模企業は 3.0%にとどまっている。一方「取り組みする予定はない」企業は、中堅企業が 19.9%に対し、小規模企業は 39.3%となっており、企業規模による差は大きい。
- ・業種別にみると、取り組みに前向きな企業は、製造業が 22.7%、非製造業が 18.1%となっている。「取り組みする予定はない」企業は製造業が 22.1%、非製造業が 25.0%となっており、製造業の方が SX への取り組みについてやや前向きである。

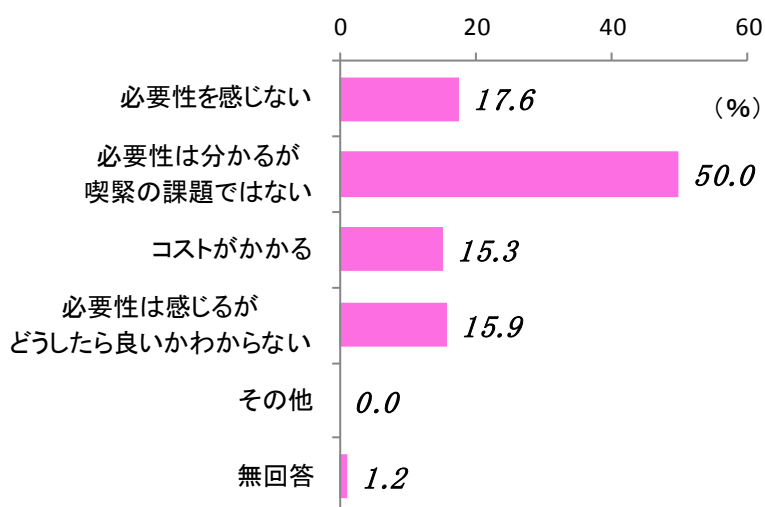


(%)

	回答企業数 (社)	① 既に取り組みを始めている	② 取り組みを始めるべく検討を進めている	①+② 取り組みに前向き	これから検討する	取り組みする予定はない	無回答	合計	
全産業	701	6.0	13.3	19.3	53.8	24.3	2.7	100.0	
規模別	小規模企業	135	3.0	5.9	8.9	50.4	39.3	1.5	100.0
	中小企業	414	5.6	15.0	20.6	54.8	21.0	3.6	100.0
	中堅企業	151	9.9	15.2	25.1	53.6	19.9	1.3	100.0
業種別	製造業	181	7.2	15.5	22.7	53.6	22.1	1.7	100.0
	非製造業	520	5.6	12.5	18.1	53.8	25.0	3.1	100.0

### (3) 取り組みしない理由

- ・(2)で取り組みする予定はないと答えた企業 170 社の取り組みしない理由について、「必要性を感じない」が 17.6%、「必要性は分かるが喫緊の課題ではない」が 50.0%、「コストがかかる」が 15.3%、「必要性を感じるがどうしたら良いかわからない」が 15.9%という結果になった。
- ・規模別にみても、「必要性は分かるが喫緊の課題ではない」はすべての企業規模において一番高く、小規模企業が 41.5%、中小企業が 50.6%、中堅企業が 63.3%となった。次に高いのは、小規模企業では「必要性を感じない」と「必要性を感じるがどうしたら良いかわからない」が同水準(24.5%)となり、中小企業では「コストがかかる」(20.7%)、中堅企業では「必要性を感じない」(13.3%)という結果になった。
- ・業種別にみても、製造業、非製造業ともに「必要性は分かるが喫緊の課題ではない」がそれぞれ 42.5%、52.3%と一番高い結果となった。



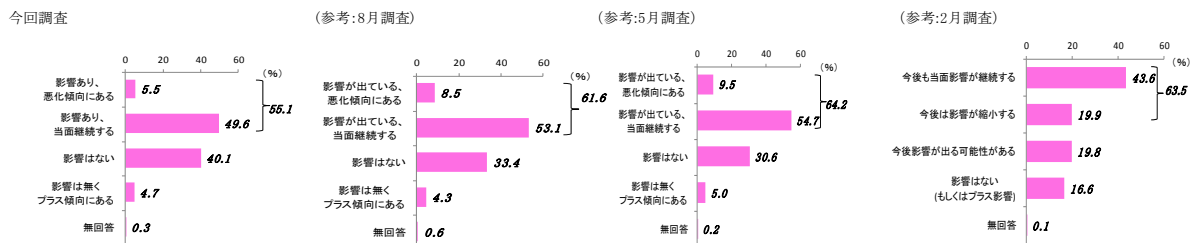
(%)

		回答企業数(社)	必要性を感じない	必要性は分かるが喫緊の課題ではない	コストがかかる	必要性を感じるがどうしたら良いかわからない	その他	無回答	合計
全産業		170	17.6	50.0	15.3	15.9	0.0	1.2	100.0
規模別	小規模企業	53	24.5	41.5	9.4	24.5	0.0	0.0	100.0
	中小企業	87	14.9	50.6	20.7	12.6	0.0	1.1	100.0
	中堅企業	30	13.3	63.3	10.0	10.0	0.0	3.3	100.0
業種別	製造業	40	22.5	42.5	25.0	7.5	0.0	2.5	100.0
	非製造業	130	16.2	52.3	12.3	18.5	0.0	0.8	100.0

## ◆ 新型コロナウイルスの影響について

### (1) 経営への影響

- ・ 新型コロナウイルスの経営への影響について、影響が出ているとする企業は今回 55.1%となり過去6回の調査(今年8月 61.6%、5月 64.2%、2月 63.5%、去年11月 67.0%、8月 66.5%、5月 67.4%)の6割を超えた状況に比べ低い結果となった。
- ・ 規模別に影響のある企業をみると、小規模企業は 47.4%(同 49.8%、55.8%、59.3%、54.6%、54.7%、60.8%)、中小企業は 57.5%(同 64.8%、66.6%、64.6%、69.6%、69.3%、68.7%)、中堅企業が 57.2%(同 67.9%、65.8%、64.9%、72.2%、72.6%、70.9%) となっており、過去5回の調査と同様に小規模企業より中小、中堅企業の方が高いという結果となった。
- ・ 業種別に影響のある企業をみると、宿泊・飲食業が 90.9%(同 95.2%、96.4%、96.2%、95.6%、93.3%、100.0%) と高い状況が続いているが、前回まで高かったサービス業が 58.7%(同 74.1%、66.7%、75.7%、70.4%、74.7%、69.3%)、小売業が 54.5%(同 72.9%、72.6%、78.4%、77.6%、80.5%、93.8%) となり、他の業種と同程度となった。

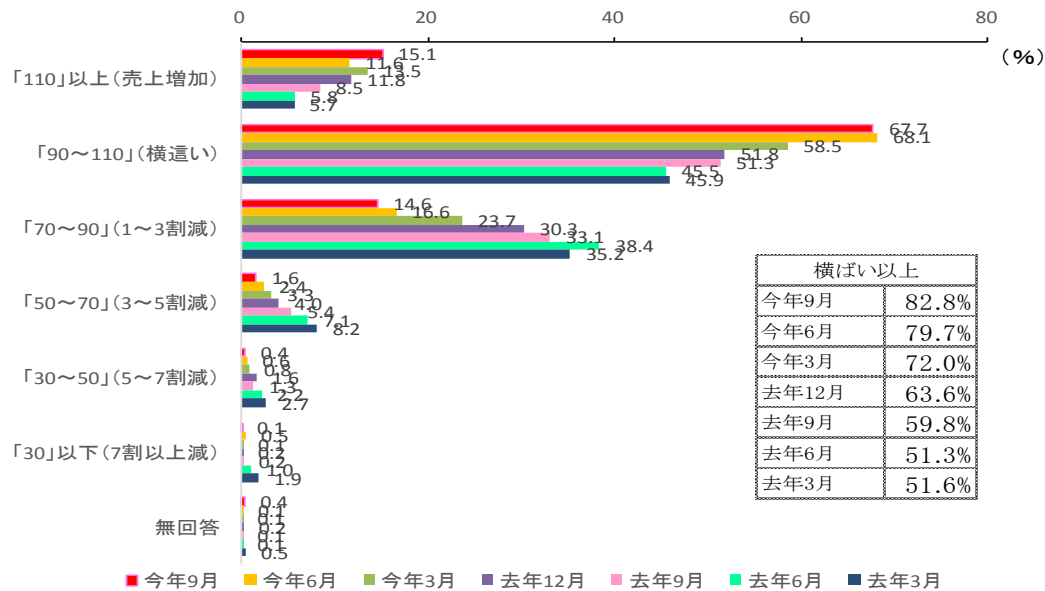


(%)

	回答 企業数 (社)	① 影響あり、悪 化傾向にある	② 影響あり、当 面継続する	①+② 影響が出て いる	影響はない	影響は無くプ ラス傾向にあ る	無回答	合計		
全産業	1,558	5.5	49.6	55.1	40.1	4.7	0.3	100.0		
規模別	小規模企業	384	4.2	43.2	47.4	48.4	3.6	0.5	100.0	
	中小企業	925	6.3	51.2	57.5	37.3	5.0	0.2	100.0	
	中堅企業	248	4.4	52.8	57.2	37.5	5.2	0.0	100.0	
業種別	製造業	396	6.6	57.1	63.7	30.3	5.3	0.8	100.0	
	非製造業	建設業	246	4.5	39.8	44.3	53.3	2.0	0.4	100.0
		卸売業	237	5.5	57.8	63.3	30.8	5.9	0.0	100.0
		小売業	99	10.1	44.4	54.5	34.3	11.1	0.0	100.0
		不動産業	220	0.9	32.3	33.2	63.6	3.2	0.0	100.0
		運輸業	77	5.2	58.4	63.6	33.8	2.6	0.0	100.0
		宿泊・飲食業	22	13.6	77.3	90.9	4.5	4.5	0.0	100.0
		医療・福祉	71	1.4	50.7	52.1	43.7	4.2	0.0	100.0
		サービス	138	5.8	52.9	58.7	36.2	5.1	0.0	100.0
その他	52	13.5	48.1	61.6	34.6	3.8	0.0	100.0		

(2)今年9月の売上水準は（前年同月を100とすると）

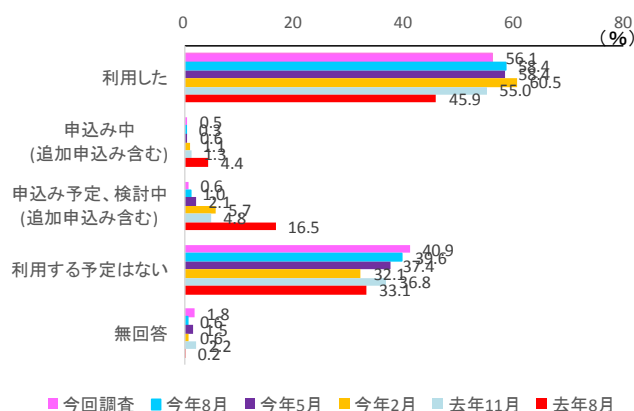
- 今年9月の売上水準は、前年同月を「100」とすると①「110」以上（売上増加）が15.1%、②「90～100」（横這い）が67.7%、③「70～90」（1～3割減）が14.6%、④「50～70」（3～5割減）が1.6%、⑤「30～50」（5～7割減）が0.4%、⑥「30」以下（7割以上減）が0.1%となり、過去6回の調査に比べて売上減の企業は減少した。横這い以上の企業が今回82.8%となり、徐々に増加している（今年6月79.7%、3月72.0%、去年12月63.6%、9月59.8%、6月51.3%、3月51.6%）。
- 横ばい以上の企業と1割以上減の企業をそれぞれ規模別にみると、横ばい以上の企業では中堅企業が、小規模、中堅企業をやや上回り、また、1割以上減ではやや下回る結果となっている。
- 1割以上減と回答した先を業種別にみても、宿泊・飲食業が今回40.9%（今年6月52.3%、3月82.2%、去年12月73.0%、9月69.6%、6月80.0%、3月95.5%）と引き続き厳しいが、他の業種は回復してきている。



		回答 企業数 (社)	① 「110」以上 (売上増加)	② 「90～110」 (横這い)	①+② 横這い以上	③ 「70～90」 (1～3割減)	④ 「50～70」 (3～5割減)	⑤ 「30～50」 (5～7割減)	⑥ 「30」以下 (7割以上 減)	③+④+⑤+ ⑥ 1割以上減	無回答	合計	
全産業		1,558	15.1	67.7	82.8	14.6	1.6	0.4	0.1	16.7	0.4	100.0	
規模別	小規模企業	384	10.9	73.2	84.1	13.0	1.8	0.3	0.3	15.4	0.5	100.0	
	中小企業	925	16.9	64.9	81.8	15.8	1.7	0.5	0.0	18.0	0.2	100.0	
	中堅企業	248	15.3	70.2	85.5	12.5	0.8	0.4	0.0	13.7	0.8	100.0	
業種別	製造業	396	16.7	64.1	80.8	17.2	1.3	0.3	0.0	18.8	0.5	100.0	
	非製造業	建設業	246	17.9	66.7	84.6	12.2	1.6	0.8	0.0	14.6	0.8	100.0
		卸売業	237	16.9	63.7	80.6	16.9	2.1	0.4	0.0	19.4	0.0	100.0
		小売業	99	12.1	69.7	81.8	14.1	4.0	0.0	0.0	18.1	0.0	100.0
		不動産業	220	10.9	82.7	93.6	5.5	0.5	0.0	0.5	6.5	0.0	100.0
		運輸業	77	15.6	64.9	80.5	18.2	0.0	0.0	0.0	18.2	1.3	100.0
		宿泊・飲食業	22	9.1	50.0	59.1	22.7	9.1	9.1	0.0	40.9	0.0	100.0
		医療・福祉	71	9.9	83.1	93.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.6	1.4	100.0
		サービス	138	12.3	65.9	78.2	19.6	2.2	0.0	0.0	21.8	0.0	100.0
その他	52	23.1	46.2	69.3	26.9	1.9	1.9	0.0	30.7	0.0	100.0		

### (3) 新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況

- ・ 新型コロナウイルス感染症にかかる特別融資や制度融資の利用状況は、「利用した」が今回 56.1%(今年8月 58.4%、5月 58.4%、2月 60.5%、去年11月 55.0%、8月調査 45.9%)、「申込み中」が 0.5%(同 0.3%、0.6%、1.1%、1.3%、4.4%)、「申込み予定、検討中」が 0.6%(同 1.0%、2.1%、5.7%、4.8%、16.5%)、「利用する予定はない」が 40.9%(同 39.6%、37.4%、32.1%、36.8%、33.1%)という結果となった。利用した企業と利用しない企業に大別されてきた。
- ・ 規模別にみても小規模企業、中小企業では「利用した」がそれぞれ 55.7%(同 54.7%、58.8%、55.9%、56.8%、48.9%)、60.3%(同 64.8%、63.3%、65.1%、59.6%、47.4%)と高く、多くの企業が利用している。中堅企業では「利用した」が 40.7%(同 40.0%、39.5%、48.3%、35.5%、36.3%)で、「利用する予定はない」が 56.9%(同 58.7%、55.3%、45.0%、52.3%、45.6%)となった。
- ・ 業種別にみても『医療・福祉』、『不動産業』、『その他』は「利用する予定がない」がそれぞれ 60.6%、50.5%、50.0%と半数以上となっている。一方、それ以外の業種では「利用した」が高い結果となっており、特に「宿泊・飲食業」が 81.8%(同 71.4%、85.7%、80.8%、69.6%、66.7%)、「小売業」が 66.7%(同 70.6%、66.3%、66.3%、62.7%、59.7%)と、利用した企業が多かった。



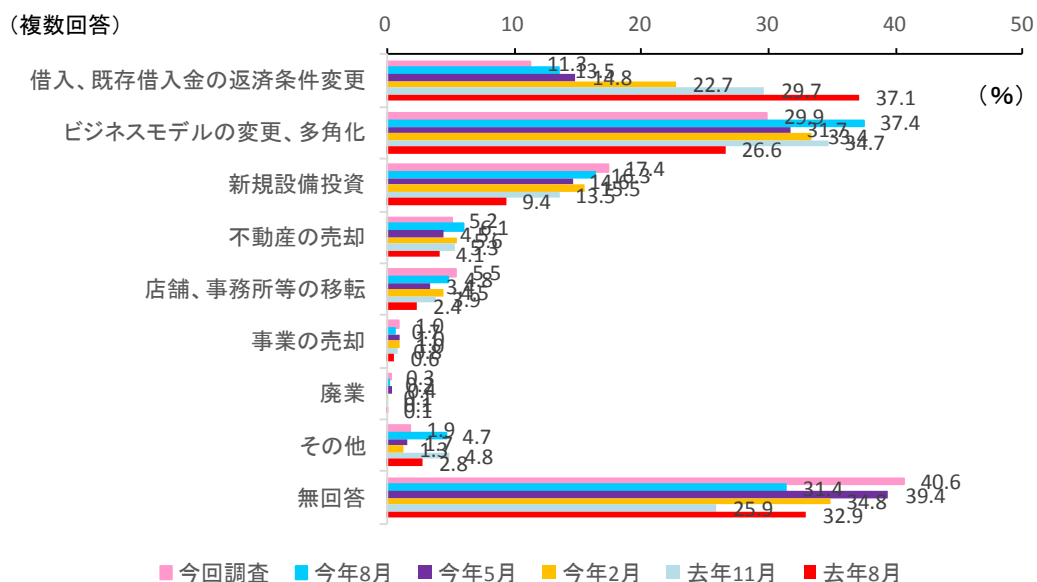
(%)

		回答企業数(社)	利用した	申込み中(追加申込み含む)	申込み予定、検討中(追加申込み含む)	利用する予定はない	無回答	合計	
全産業		1,558	56.1	0.5	0.6	40.9	1.8	100.0	
規模別	小規模企業	384	55.7	0.3	0.8	40.9	2.3	100.0	
	中小企業	925	60.3	0.5	0.5	36.8	1.8	100.0	
	中堅企業	248	40.7	0.8	0.8	56.9	0.8	100.0	
業種別	製造業	396	58.8	0.5	1.0	38.1	1.5	100.0	
	非製造業	建設業	246	58.5	0.0	0.4	38.2	2.8	100.0
		卸売業	237	59.5	0.4	0.8	38.0	1.3	100.0
		小売業	99	66.7	1.0	0.0	30.3	2.0	100.0
		不動産業	220	46.4	0.5	0.0	50.5	2.7	100.0
		運輸業	77	59.7	1.3	2.6	33.8	2.6	100.0
		宿泊・飲食業	22	81.8	0.0	0.0	18.2	0.0	100.0
		医療・福祉	71	35.2	1.4	1.4	60.6	1.4	100.0
		サービス	138	54.3	0.0	0.0	45.7	0.0	100.0
その他	52	46.2	1.9	0.0	50.0	1.9	100.0		



#### (4)既に実施または、今後実施を検討している対策

- 既に実施または今後実施を検討している対策は、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」が今回 11.3%(今年 8 月 13.5%、5 月 14.8%、2 月 22.7%、去年 11 月 29.7%、8 月 37.1%)、「ビジネスモデルの変更、多角化」が 29.9%(同 37.4%、31.7%、33.4%、34.7%、26.6%)、「新規設備投資」が 17.4%(同 16.3%、14.6%、15.5%、13.5%、9.4%)、「不動産の売却」が 5.2%(同 6.1%、4.5%、5.6%、5.3%、4.1%)、「店舗、事務所等の移転」が 5.5%(同 4.8%、3.4%、4.5%、3.9%、2.4%)、「事業の売却」が 1.0%(同 0.7%、1.0%、1.0%、0.8%、0.6%)、「廃業」が 0.3%(同 0.2%、0.4%、0.1%、0.1%、0.1%)という結果になった。コロナ後を見据えて「新規設備投資」が増加傾向にある。
- 規模別でみると、「ビジネスモデルの変更、多角化」は企業規模にかかわらず高く、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」「不動産の売却」は小規模企業で高く、「新規設備投資」は中堅企業で高くなった。
- 業種別にみると、「ビジネスモデルの変更、多角化」は製造業、非製造業ともに高く、「資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更」「新規設備投資」は、製造業の方が非製造業に比べて高くなった。

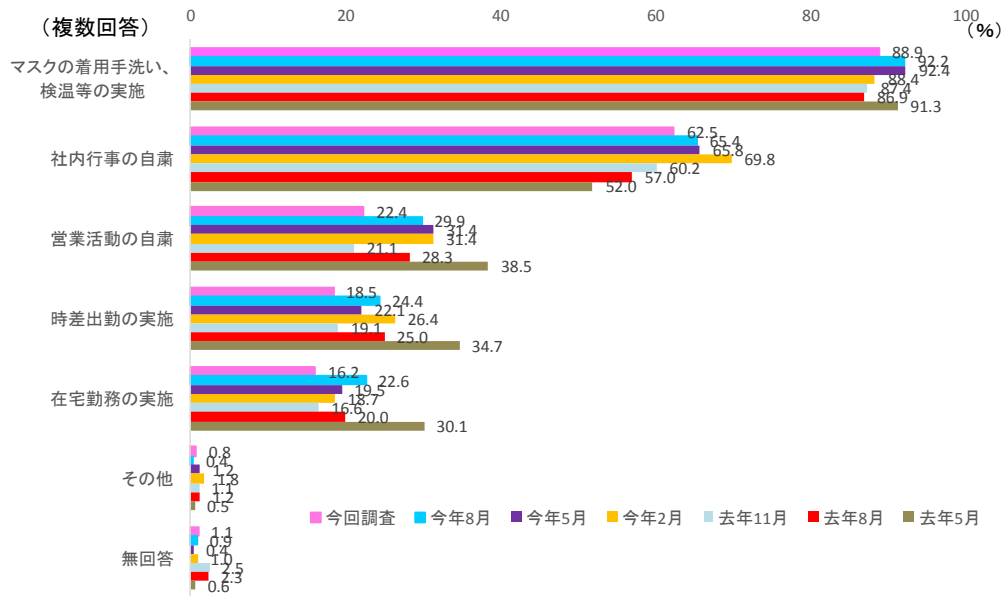


(複数回答) (%)

	回答企業数(社)	資金繰りのための借入、既存借入金の返済条件変更	ビジネスモデルの変更、多角化	新規設備投資	不動産の売却	店舗、事務所等の移転	事業の売却	廃業	その他	無回答	
全産業	1,558	11.3	29.9	17.4	5.2	5.5	1.0	0.3	1.9	40.6	
規模別	小規模企業	208	16.8	45.2	19.7	20.7	4.8	2.4	0.5	2.4	84.6
	中小企業	925	12.6	29.9	18.6	3.1	5.3	0.9	0.2	2.3	40.5
	中堅企業	248	9.7	37.9	23.0	3.6	10.5	0.8	0.4	1.2	33.1
業種別	製造業	396	12.6	31.3	23.7	1.5	6.1	0.5	0.3	2.0	37.1
	非製造業	1,162	10.8	29.4	15.2	6.5	5.2	1.1	0.3	1.8	41.8

**(5) 現在、対策として実施しているものは**

- ・現在、対策として実施しているものは、「マスクの着用や手洗い、検温等の励行」が今回 88.9%(今年8月 92.2%、5月 92.4%、2月 88.4%、去年11月 87.4%、8月 86.9%、5月 91.3%)、「社内行事の自粛」が 62.5%(同 65.4%、65.8%、69.8%、60.2%、57.0%、52.0%)、「営業活動の自粛」が 22.4%(同 29.9%、31.4%、31.4%、21.1%、28.3%、38.5%)、「時差出勤(シフト勤務等)の実施」が 18.5%(同 24.4%、22.1%、26.4%、19.1%、25.0%、34.7%)、「在宅勤務(テレワーク等)の実施」が 16.2%(同 22.6%、19.5%、18.7%、16.6%、20.0%、30.1%)となった。緊急事態宣言が解除されたこともあり、「営業活動の自粛」「時差出勤の実施」「在宅勤務の実施」が前回までの調査に比べ減少した。
- ・規模別では、「社内行事の自粛」「営業活動の自粛」「時差出勤の実施」「在宅勤務の実施」の項目において、過去5回の調査と同様に企業規模が大きい企業ほど高いという結果となった。
- ・業種別では、製造業では非製造業より「営業活動の自粛」「在宅勤務の実施」の項目において比率が高いという結果となった。



		回答企業数(社)	マスクの着用や手洗い、検温等の実施	社内行事の自粛(延期、中止等)	営業活動の自粛	時差出勤(シフト勤務等)の実施	在宅勤務(テレワーク等)の実施	その他	無回答
全産業		1,558	88.9	62.5	22.4	18.5	16.2	0.8	1.1
規模別	小規模企業	384	84.1	48.7	16.7	11.2	12.8	0.5	1.8
	中小企業	925	91.2	65.7	24.6	18.9	15.9	0.9	0.5
	中堅企業	248	87.5	71.4	23.0	28.2	22.6	0.8	2.0
業種別	製造業	396	90.4	61.9	28.5	15.9	17.4	0.8	1.0
	非製造業	1,162	88.4	62.7	20.3	19.4	15.7	0.8	1.1

## ◆ トピックス

## — 2022年を表す漢字 —

- ・「2022年はどのような年にしたいか」を漢字 1 文字で表現してもらったところ、1 位には去年と同様に「安」(66 件)が選ばれた。コロナ禍で「安らか」や「安心」「安全」「安定」を望む気持ちが表れている。また、「変」(65 件)「進」(64 件)と続く。コロナ禍で「変わる」「進む」等が選ばれ、「新」「明」「良」「躍」「飛」など業容の拡大を期待する漢字が並んだ。

2022年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	安	66
2	変	65
3	進	64
4	新	52
5	明	41
6	良	36
7	躍	32
8	飛	28
9	増	26
	伸	26
11	耐	25
	上	25
	昇	25
14	挑	24
15	復	23

《参考》2021年を表す漢字

順位	漢字	件数
1	安	55
2	変	52
	耐	52
4	新	47
5	進	42
6	明	40
7	復	34
8	良	32
	昇	32
10	躍	31
11	改	27
12	楽	24
13	飛	22
14	挑	19
15	成	19

#### IV.【参考】業況判断の内訳明細

##### 景況判断

DI = 「良い」 - 「悪い」

項目	2021年 1~3月				2021年 4~6月				2021年 7~9月				2021年 10~12月				2022年 1~3月 《見通し》			
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI
全産業	6.0	53.0	40.9	▲34.9	8.1	56.7	35.2	▲27.1	7.2	63.8	29.0	▲21.8	9.5	72.0	18.5	▲9.0	9.5	74.1	16.4	▲6.9
小規模企業	3.1	62.1	34.8	▲31.7	4.8	65.6	29.6	▲24.8	3.4	72.0	24.6	▲21.2	6.0	79.7	14.3	▲8.3	5.0	80.9	14.1	▲9.1
中小企業	6.5	51.1	42.4	▲35.9	8.1	53.9	38.0	▲29.8	8.1	60.4	31.5	▲23.5	10.6	69.0	20.3	▲9.7	11.6	70.6	17.8	▲6.2
中堅企業	8.5	47.9	43.6	▲35.1	12.3	55.7	32.0	▲19.7	9.6	64.2	26.2	▲16.6	10.9	71.4	17.7	▲6.9	8.9	76.6	14.5	▲5.6
製造業	9.3	43.5	47.2	▲37.9	10.7	48.8	40.5	▲29.9	9.5	56.6	33.9	▲24.3	12.6	65.2	22.2	▲9.6	12.2	67.1	20.8	▲8.6
小規模企業	5.6	50.0	44.4	▲38.9	9.7	48.4	41.9	▲32.3	6.9	55.2	37.9	▲31.0	3.2	67.7	29.0	▲25.8	6.5	64.5	29.0	▲22.6
中小企業	8.1	42.9	49.0	▲40.9	9.8	47.9	42.3	▲32.5	9.1	54.4	36.5	▲27.4	12.2	66.6	21.3	▲9.1	12.9	66.1	21.0	▲8.0
中堅企業	14.1	43.6	42.3	▲28.2	14.1	51.3	34.6	▲20.5	12.2	64.9	23.0	▲10.8	17.9	59.0	23.1	▲5.1	11.5	71.8	16.7	▲5.1
非製造業	4.8	56.5	38.6	▲33.8	7.1	59.7	33.2	▲26.0	6.3	66.4	27.3	▲20.9	8.4	74.3	17.2	▲8.8	8.6	76.5	14.9	▲6.3
小規模企業	3.0	62.7	34.3	▲31.4	4.2	67.7	28.1	▲24.0	3.1	73.5	23.5	▲20.4	6.2	80.7	13.0	▲6.8	4.8	82.4	12.8	▲8.0
中小企業	5.7	55.1	39.2	▲33.5	7.4	56.6	36.0	▲28.6	7.6	63.2	29.2	▲21.7	9.9	70.2	19.9	▲10.0	11.0	72.7	16.3	▲5.3
中堅企業	5.3	50.4	44.4	▲39.1	11.3	58.0	30.7	▲19.3	8.4	63.9	27.7	▲19.4	7.6	77.1	15.3	▲7.6	7.6	78.8	13.5	▲5.9

項目	2021年 1~3月				2021年 4~6月				2021年 7~9月				2021年 10~12月				2022年 1~3月 《見通し》				
	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い	DI	
地域別	神戸地域	6.3	45.2	48.5	▲42.1	6.0	49.3	44.6	▲38.6	4.3	60.9	34.8	▲30.6	8.9	69.0	22.1	▲13.2	8.7	72.1	19.1	▲10.4
	阪神地域	3.3	62.5	34.1	▲30.8	6.8	70.6	22.6	▲15.9	7.6	74.6	17.9	▲10.3	5.9	85.8	8.3	▲2.5	6.9	85.5	7.6	▲0.7
	播磨地域	8.4	55.4	36.2	▲27.8	11.1	57.9	31.0	▲20.0	9.8	62.1	28.1	▲18.2	14.0	68.1	17.9	▲9.8	12.7	71.5	15.8	▲3.1
	但馬・丹波地域	7.7	46.2	46.2	▲38.5	8.1	48.6	43.2	▲35.1	5.2	36.2	58.6	▲53.4	8.0	44.0	48.0	▲40.0	14.0	40.0	46.0	▲32.0
	淡路地域	0.0	47.1	52.9	▲52.9	6.3	45.3	48.4	▲42.1	5.1	57.6	37.4	▲32.3	4.6	64.8	30.6	▲25.9	5.6	67.6	26.9	▲21.3
業種別	製造業	9.3	43.5	47.2	▲37.9	10.7	48.8	40.5	▲29.9	9.5	56.6	33.9	▲24.3	12.6	65.2	22.2	▲9.6	12.2	67.1	20.8	▲8.6
	建設業	5.3	68.3	26.4	▲21.2	8.6	66.2	25.2	▲16.7	5.4	71.9	22.7	▲17.4	8.5	78.9	12.6	▲4.1	8.5	78.9	12.6	▲4.1
	卸売業	9.5	47.1	43.4	▲33.9	8.5	50.2	41.3	▲32.9	9.2	57.3	33.5	▲24.3	9.7	67.9	22.4	▲12.7	9.3	71.7	19.0	▲9.7
	小売業	7.3	29.3	63.4	▲56.1	10.0	46.3	43.8	▲33.8	11.8	58.8	29.4	▲17.6	16.2	61.6	22.2	▲6.1	8.1	72.7	19.2	▲11.1
	不動産業	1.2	75.5	23.3	▲22.1	3.7	79.3	17.1	▲13.4	2.0	83.9	14.1	▲12.1	5.5	87.7	6.8	▲1.4	5.9	88.1	5.9	0.0
	運輸業	6.2	50.8	43.1	▲36.9	9.0	61.2	29.9	▲20.9	6.9	62.5	30.6	▲23.6	9.1	74.0	16.9	▲7.8	14.3	70.1	15.6	▲1.3
	宿泊・飲食業	0.0	7.7	92.3	▲92.3	3.6	10.7	85.7	▲82.1	0.0	14.3	85.7	▲85.7	4.5	40.9	54.5	▲50.0	31.8	36.4	31.8	0.0
	医療・福祉	2.0	61.2	36.7	▲34.7	3.6	67.9	28.6	▲25.0	12.7	70.4	16.9	▲4.2	7.0	84.5	8.5	▲1.4	8.5	84.5	7.0	1.4
	サービス業	0.9	51.4	47.7	▲46.8	7.5	50.5	41.9	▲34.4	4.5	55.4	40.2	▲35.7	5.8	69.3	24.8	▲19.0	5.1	73.7	21.2	▲16.1
	その他	5.3	64.9	29.8	▲24.6	6.3	61.5	32.3	▲26.0	3.7	68.5	27.8	▲24.1	9.6	63.5	26.9	▲17.3	9.6	67.3	23.1	▲13.5

##### 【各種判断】

DI = 「増加」 - 「減少」、「不足」 - 「過剰」、「楽である」 - 「苦しい」

項目	2021年 1~3月				2021年 4~6月				2021年 7~9月				2021年 10~12月				2022年 1~3月 《見通し》			
	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI	増加 不足 楽である	変わらず 適正 普通	減少 過剰 苦しい	DI
売上高判断	11.0	49.1	39.9	▲28.9	14.1	54.2	31.7	▲17.7	15.0	60.5	24.5	▲9.5	18.6	64.7	16.7	1.9	17.6	69.6	12.9	4.7
経常利益判断	11.4	51.2	37.5	▲26.1	13.7	56.9	29.3	▲15.6	13.8	63.9	22.2	▲8.4	15.6	69.2	15.2	0.4	15.6	72.1	12.3	3.3
仕入価格判断	5.9	85.1	9.0	▲3.2	11.5	81.3	7.3	4.2	15.3	80.7	4.0	11.3	24.9	72.8	2.3	22.5	24.4	73.5	2.1	22.3
生産判断【製造業のみ】	15.0	52.6	32.4	▲17.4	15.5	58.0	26.5	▲11.0	17.9	65.0	17.1	0.9	20.5	66.6	12.9	7.6	19.6	70.8	9.6	9.9
在庫判断	2.2	93.5	4.3	▲2.1	4.0	92.9	3.0	1.0	3.7	93.3	2.9	0.8	3.8	94.0	2.2	1.6	3.4	94.6	2.1	1.3
資金繰り判断	8.2	84.4	7.4	0.8	9.3	84.2	6.4	2.9	7.2	87.5	5.3	1.9	9.5	85.9	4.6	4.9	9.1	85.9	5.0	4.1
雇用判断	10.0	85.6	4.4	5.7	10.3	87.4	2.3	8.0	11.0	87.8	1.2	9.8	14.4	84.6	1.1	13.3	14.1	84.8	1.1	13.0
設備投資判断	5.7	85.1	9.2	▲3.6	6.3	86.2	7.4	▲1.1	6.2	87.2	6.6	▲0.4	6.2	88.9	4.9	1.3	7.1	88.5	4.4	2.7